

事業番号	134
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業概要	事務事業名	認知症見守り普及啓発事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	長寿介護課							
	事業期間	平成23年度			～	平成23年度		担当係	長寿福祉係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		13 高齢者福祉		2 高齢者の地域での生活を支援する									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	3		中	12	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %			委託	0 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	認知症に対する理解を深め、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進する。														
	内容 (手段)	<p>県の「介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業(地域支え合い体制づくり事業)」を利用し認知症の家族を介護した経験を持つ著名人を招き講演会を実施し、認知症に対する理解を深めていただいた。</p> <p>【直接経費の主な内訳】 講師謝礼 687千円 印刷製本費 135千円</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	
コスト	費用	直接経費	千円			838	
		正職員	従事者数	人			0.10
			人件費	千円			531
		その他職員	従事者数	人			0.00
			人件費	千円			0
		費用合計	千円			1,369	
	対前年比	%			—		
財源	一般財源	千円			531		
	国・県支出金	千円			838		
	その他財源	千円			0		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	講演会参加回数	回	目標	—	—	1	—
			実績			1	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	講演会来場者数	人	目標	—	—	200	—
			実績			209	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	成果指標である講演会来場者数は、目標を達成した。また、講演会で質疑応答時間を設けたところ来場者から様々な意見が活発に出て、認知症に対する意識や理解を得られた。				
		事業実施における課題等					
		事業を縮小・廃止したときの影響					
	今後の事業の方向性	方向性の判定	平成23年度終了				
		判定理由					
		改善案等					

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	平成23年度終了	一次評価のとおり。				